▼エイベリス点眼液　［外］

【重要度】　【一般製剤名】オミデネパグ イソプロピル　Omidenepag Isopropyl　【分類】緑内障・高眼圧症治療剤［選択的 EP2 受容体作動薬］
【単位】▼2.5mL/本［0.002%］
【常用量】1 回 1 滴，1 日 1 回点眼
※無水晶体眼又は眼内レンズ挿入眼には禁忌［嚢胞様黄斑浮腫を含む黄斑浮腫，及びそれに伴う視力低下及び視力障害を起こすおそれ］
【用法】点眼タイミングはいつでもよいが，点眼後の一過性の結膜充血があらわれる場合があるため，夜に点眼するのがベターかもしれない
【透析患者への投与方法】常用量（1）
【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（1）
【特徴】EP2 受容体刺激作用により，線維柱帯流出路及びぶどう膜強膜流出路を介した房水流出が促進されることによる眼圧降下作用がある．白内障手術例（眼内レンズ挿入・水晶体がない）には適用できない．メラニン親和性がなく，色素沈着のリスクが低い．
【主な副作用･毒性】嚢胞様黄斑浮腫を含む黄斑浮腫，結膜充血，眼の不快な症状など
点眼後，一時的に霧視，羞明等が出現することがある
【安全性に関する情報】チモロールマレイン酸塩との併用例で結膜充血等の眼炎症性副作用の発現頻度の上昇（1）
【F】
【tmax】
【代謝】エステラーゼにより活性体オミデネパグに加水分解（1）オミデネパグは脱アルキル化（CYP3A4），抱合を受ける（1）
【排泄】尿中回収率 4%［点眼，168hr まで］（1）
【t1/2】30min（1）
【蛋白結合率】97%［サル］（1）
【Vd】
【MW】520.60
【透析性】
【O/W 係数】
【併用禁忌】中等度以上の羞明，虹彩炎等の眼炎症が高頻度となるためタフルプロストと併用禁忌（1）
【肝障害患者への投与方法】
【小児 CKD 患者における報告】
【妊婦・授乳婦への投薬】
【主な臨床報告】
【備考】冷所保存
【更新日】20240724

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。